

福岡空港構想・施設計画段階に係る
PI活動の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港構想・施設計画段階PI評価委員会 山本 智子
-------------	-------------------------------

日時・場所	日時：平成22年9月17日 18時～20時 場所：博多市民センター
PI活動の種類	周辺地域説明会
所見 (アドバイス等)	<p>(所見)</p> <p>1. 出席者25名(内女性7名)、年代は60代を中心に各年齢層の出席がありました。周辺地域で身近な問題ということもありますが、関心のある方が気軽に参加するという本来のPIのあり方でした。ただ、平日開催の説明会は現行より30分ほど時間繰り下げる等、サラリーマン等が参加し易い条件づくりに今後とも工夫を続けることが必要でしょう。</p> <p>2. 今回は周辺地域ですので質問が騒音や工事など具体的なものに集中していました。この点、これまでの活動の成果から行政側からPI活動の趣旨(案に関する情報提供)に関して様々な説明が試みられていましたが、やはり一般的には、情報の提供というより、都市計画面の縦覧と同様のものと誤解されているのが実際ではないか、とあらためて思いました。今までのこの種の計画がいかに一方通行だったか改めて考えると同時に、今後、様々な施策にPI活動を導入することで社会的認知を獲得することが、今回の空港問題に限らずPI活動を活かすことになると思います。</p> <p>3. PI活動は、時間管理が大事であり、実施側からは短期間に深く、を目標としてきたことと思います。また、これは効果の面から成功していると思います。ただ、最終段階にあたるこの滑走路増設案に関しては、いままでのPI活動の経緯の中で検討に至ったものであることがどの程度一般に理解を得ているかを掘り下げて検討評価しなくてはならず、その意味では周辺地域に限らない対象者からの意見も大切で、一般説明会はもう少し機会を設けても良かったくらいですので、もし出前説明会の希望があればできる限り実施していただきたいと思えます。</p>